

しばやま『スター名鑑』

#5

このコーナーでは、さまざまな分野で活躍する町内のスターを紹介します。



菊地 悠義 / YUGI KIKUCHI (バルールド)

平成20年9月29日生まれの11歳。「弱虫な自分を克服して強くなりたい」と思ったことをきっかけに空手を習い始めました。

現在は芝山町で活動している「空手道 白真会」に所属し、日々稽古に励んでいます。

国際大会への出場権を獲得

平成31年4月7日に開催された第3回国際ジュニアユース空手道選手権大会(小学5年生男子軽量級の部)に出場した菊地さんは3位に入賞し、国際大会への出場権を獲得しました。

国際大会出場が決まってからは、練習漬けの日々で「とても辛かった」と話す菊地さん。それでも、先生をはじめ道場の仲間にかくさん助けてもらったことが支えとなり、最後まで諦めずに頑張ることができました。

国際大会を経験して

辛い練習の日々を乗り越えた菊地さんは、同年11月23日にカナダのモントリオールにて行われた第1回チャンピオンシップ国際大会FUJIWARA CUP(10〜11歳40kg以下男子上級の部)に日本代表選手として出場しました。試合は準優勝という悔しい結果で幕を閉じましたが「これまでの試合は戦うことが怖かったけれど、この大会を経験してからは強い選手に挑戦したいという気持ちが強くなった。また、大会翌日のパーティーで海外の同世代の選手たちと交流したことがとても良い思い出になった」と、海外での試合経験は菊地さんにとって今後のモチベーションを高める貴重な経験となりました。

今後の目標

試合で勝ってお世話になった人たちに恩返しをしたいという思いを持ち、何事も基本を大切にひとつひとつできるように努力することを意識して日々稽古に打ち込んでいる菊地さん。「今年の12月にロシアで国際大会が行われるので、再び代表選手として出場することができるように努力したい。また、どんな時でも辛いことから逃げず、常に挑戦者として頑張っていきたい」と今後の決意を語ってくれました。



▲力強い正拳突きをする菊地さん

あとがき

◆温かく心地よい陽気となってきましたね。新年度がスタートし、広報3年目の春を迎えました。◆これまで積み重ねてきた24冊(2年間)の広報紙。それぞれに思い入れや印象的なシーン、さまざまな人との出会いや経験などがありました。それらが確かな経験値となり、新米広報担当者のときから比べると、少しずつ自分なりの感性と伝えたいことが表現できるようになってきた気がします。◆まだまだ精進中ですが、広報担当者だから経験できることや、人とのつながりを大切に、これからも自分なりの色で読みやすい広報紙作りを目指して頑張っていきます。◆全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で大変なときですが、一人一人が感染予防の意識を持ち、こまめな手洗い・うがいなどを心掛けましょう！ (D)

◆世界各国で猛威を振るう「新型コロナウイルス」は、せつげんによる手洗いやアルコール消毒、人混みを避けるなど基本的な感染対策が重要とされています。◆また、町のホームページや住民情報メールなどでは、「コロナウイルスに関する情報を随時発信していますので確認してみてください！」◆広報担当となって1年がたち、成長したと感ずることもあれば、実力不足を痛感することもたくさん。2年目となる今年度は今までの伝統を引き継ぎながら、少しずつ自分の色も出していきたくと思っています！◆といつことでもなく、今月号から表紙のデザインを新しくしました！今後より良い広報紙が作れるように頑張っていきますので、よろしくお願いたします！ (M)